

MRI検査

ココが
スゴイ!

① 絶食も採血もありません

PET-CTなどでは必要な検査前の絶食の他、採血や薬剤投与、撮影前の安静待機、検査後の処置は必要ありません。また、磁石と電磁波を利用した検査のため、被ばくも全くありません。

② たった1時間で検査終了

施設や検査機器によって異なりますが、撮影時間は主に30分以内。採血や薬剤投与がないため、トータルでも検査時間は1時間程度です。忙しく、できるだけ短い時間で全身のがんの検査をしたい人に向いています。

この検査で見つかるがん

全身のがん

八王子クリニック本院

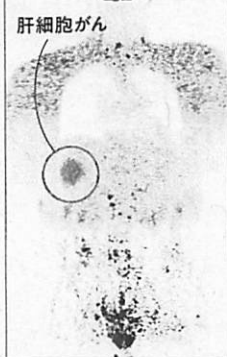
東京都八王子市新町 7-10 八王子クリニック新町ビル1F・2F

☎042-643-1321

他にも東京をはじめ、関東・関西地方に導入している医療機関があります。

ドゥイブス検査 検索

■ およそ¥100,000(病院により異なるため直接お問い合わせください)



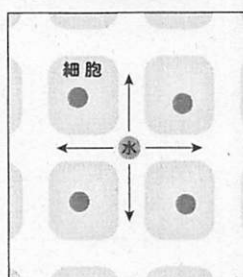
DWIBS検査の肝細胞がんの症例画像。悪性腫瘍は細胞と細胞の間が狭くなり、細胞間の水の動きが悪くなるという特性に着目。画像から悪性腫瘍を探し出します。

被ばく、
食事制限なし

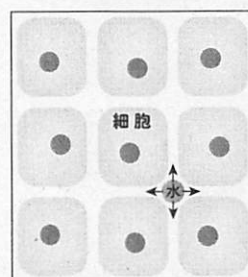
DWIBS(ドゥイブス)検査

悪性腫瘍は細胞密度が高くなることに着目したMRI(磁気共鳴画像)によるがん検査。MRIは、磁石と電磁波によって全身の断面像を描写するため、被ばくすることなく検査を受けることができます。全身のがんが対象で、特に苦手とするがんもあります。導入している医療機関は全国でおよそ10施設ほど。

《 正常組織は
水の動きが良い 》



《 細胞密度が高いと
水の動きが悪い 》



News!!

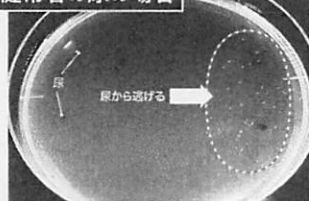
生物を使う世界初の検査

2020年1月実施化目前

線虫がん検査『N-NOSE』

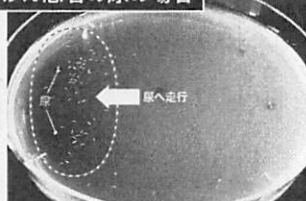
HIROTSUバイオサイエンスが2020年1月の実用化を目指す、生物を使った世界初の検査。使用するのはごく微量のがんの匂いを検知する線虫で、機械では発見が困難な早期のがんを高感度で、しかも全身網羅的に調べられます。現時点では、がんのリスク判定を行うという位置づけではあるものの、臨床研究ではステージ0.1の段階でがんを発見できることを確認。尿1滴で検査できるため、簡便で痛みもないのが特徴。線虫は飼育コストが安く、検査価格も安価になると見込まれています。

健常者の尿の場合



健常者の尿の場合、
線虫は尿から逃げる。

がん患者の尿の場合



がん患者の尿の場合、
線虫が尿へ走行。

News!!

口臭からがんを見つける

実用化を検討中

口腔がん診断技術

北九州市立大学国際環境工学部の李丞祐教授が、九州歯科大学との共同研究により確立したのが、匂いによる口腔がん診断技術。健常者と口腔がん患者の唾液から検出した揮発性有機化合物(VOC)の匂い成分の違いや変動を総合的に判断し、早期口腔がんを診断するという技術です。早期発見が難しく、リンパ節や頸部に広がったあとの段階になって発見されることが多いといわれる口腔がん。早い段階で簡便に口腔がんを診断できる検査として、実用化が期待されます。

